

### シリーズ 3

#### 「グループで聖書を読む」ということ！

よちよち歩きのお子さんをかかえての聖研は無理・・・！と決めつけていませんか？  
横浜市のあるグループは、子育て中のママたちの聖研が20年以上続いています！

「子育てママたちで学ぶ聖研の恵み」

鯉淵 早弓

今年社会人になった長女がまだ赤ちゃんで、やっと1歳の誕生日を迎える頃のことです。近所にも育児サークルにも、親子の友人がどんどん増え、とても親しくなりました。私は「この方たちにイエス様のことをお伝えしたい」と思いつつも、娘は小さいし、自分にはとても無理と思っていました。でも、神様がいつかイエス様を必要とする方と出会わせてくださるようにと祈っていました。

そんな時、育児サークルで一緒にのSさんが、「クリスチャンの鯉淵さんにお話を聞いてみたいと思っていた」というのです。聖書を自分で読んでもよく分からなかったとのこと。私は、早速「基礎の学び」を一緒にしないかとお誘いすると、二つ返事でぜひやりたいとのことでした。こんなに早く伝道の機会が与えられるなんて！と驚きました。さらに、近所のお友達で親しくなったNさんに、友人と聖書の学びを始めることになったと話すと、何と「私も入れてもらえないかしら？」というのです。教会の先輩ママたちにも参加していただき、0～2歳の子連れで聖研が始まりました。祈った通りに、神様がすぐそばにいて、すべてを準備し進めてくださるのを感じ、鳥肌の立つ思いでした。

子どもたちのけんかや泣き声に中断されな

がらも、おやつを出すタイミングを工夫したりして、聖研は毎週続けられました。普段、時間も生活もすべて子どもに奪われているママたちにとって、自分のために聖書を学ぶことはとても新鮮でうれしいことでした。その後、マルコ、創世記、神の人4人、イエスに会った人たちなどの手引を使って学びました。2年くらいたったころでしょうか、Sさんが教会にも集うようになり、信仰を持ちました。メンバーが入れ替わり立ち替わりしましたが、Sさんの友人のAさんが加わり、育児サークルのEさん、Yさんも加わりました。子どもたちが成長するにつれて、悩みも変わってきます。人間関係や夫婦関係など、その都度、聖書は何と言っているかを語り合い、そして聖研の後、具体的に祈ることもしばしばでした。Aさんもしばらくしてクリスチャンになりました。Sさんは、引っ越して行かれましたが、引っ越した先でも友人とグループで学んでいるようです。

現在、Tさんも加わって6名で聖研を続けています。子どもたちは大人になり、メンバーも仕事に出るようになったため、月に1回の学びになりましたが、皆、このために休みを取って集まります。

振り返れば、20年以上になりますが、私が一番恵みを受けてきたように思います。毎回の学びで本当に多くのことを教えられ、自分では気付かなかったことに未信者の友人の発言で気付かされたこともありました。

うれしいことに、昨年からはYさんが熱心に教会に集うようになり、Eさん、Tさんも時々教会に来てくださっています。この友人たちがイエス様に出会い、救われていきますよにと祈りつつ、恵みの聖研の時を感謝して楽しんでいきたいと思っています。

